

# 東日本大地震による自粛ムードの見直しについて

平成 23 年 4 月 21 日

全国商店街振興組合連合会

3 月 11 日に発生しました東日本大震災は、これまでに経験したこともない地震と津波をもたらすとともに、想定外の福島原発事故と相俟って、被災地では生活が一瞬にして崩壊し過酷な状況にさらされております。

そして、その影響は国内の各産業に広がり、また国内に止まらず海外にも波及するなど、日本経済は極めて深刻な局面にたたされております。

全国商店街振興組合連合会では、平成 22 年度末に災害復旧事業として地震津波等により被害を受けた商店街に対して、破損した既存施設の補修や来街を妨げるような障害物の除去等に必要な経費を助成しました。引き続き平成 23 年度においても第二弾としての災害復旧事業に取り組んでいるところです。

また、全国の商店街では、募金活動、ボランティアの派遣等による被災者を支援する輪が広がっております。

こうした中で、被災地に配慮して全国的に各種行事やイベント等の中止・規模の縮小等による自粛ムードが広がっております。

このため、消費の自粛ムードにも拍車がかかり、日本経済は急激に落ち込んでおり、商店街では人通りは激減しこれまでにない厳しい状況にあります。

過度の自粛は日本の経済を萎縮させ、また被災地の一日も早い復興にも影響を与えかねません。被災地の皆様を含め各方面から自粛による日本経済の低迷を懸念して、自粛の見直しを願う声が聞こえております。

つきましては、自粛ムードの見直しについて、商店街、構成する小売業、サービス業等に対しまして下記の対応をするようお願いいたします。

## 記

1. 季節イベントや各種行事等については、過度な自粛を見直し計画どおり行いましょう。
2. 風評に惑わされない行動をとりましょう。
3. 被災地の産品販売や被災者との交流を行いましょう。

以 上